

「コンサ・土・農園（ファーム）」 ～収穫祭に、「サポーター」が参加～

9月27日、北広島市の農業体験施設「くるるの杜」にある、ＪＡグループ北海道とコンサドーレが設けた畑「コンサ・土・農園（コンサ・ド・ファーム）」でバレイショの収穫祭が行なわれました。

サッカーＪ２北海道コンサドーレ札幌の野々村社長、福森選手、荒野選手、進藤選手、神田選手、堀米選手と、サポーター６組１２名が、６班に分かれ選手とサポーターと一緒にバレイショを収穫しました。

今回、参加したサポーターのうち、３組６名は、この春、ＪＡバンク北海道で実施した「北海道コンサドーレ札幌応援定期貯金キャンペーン」の応募者の中から選ばれました。参加者の方々は、「選手と身近に接することができて嬉しい」、「３月１日のキャンペーン開始日に、開店前から並んだ甲斐があった」と笑顔で話されていました。

バレイショは、「さやあかね」１.６㍓、収穫量は約４００㍓。選手１人とサポーター２人が１組となり、農作業に汗を流しました。バレイショはサポーターに渡された他、コンサドーレ・ホームゲームで販売され、売上で道内の養護施設にサッカーボールなどを贈る予定となっています。

ＪＡバンク北海道は、ＪＡグループ北海道の一員として、コンサドーレとの連携に今後とも積極的に取組んで参ります。



【コンサドーレ・堀米選手とイモ掘りをする、ＪＡバンク北海道キャンペーン応募者】